



海草と海藻はちがうの？

海草って？	海藻って？
花は咲くの？	花は咲き 種子ができる。
どこで育つの？	砂泥質の海底に、 種子や地下茎を 伸ばして育つ。
栄養分は どうやって 取り込むの？	付着根に栄養分を 取り込む機能が ないので、葉体で 海中の栄養分を取り込む。

海を伝えつつける！

海に興味を持たず、海離れが進んでいると言われている今の子どもたちに、必ず話すべきことがあると言います。

学芸員の平賀さん「『お寿司って好き？』って聞くと、8割ぐらいの子が、『お寿司大好き！』って答えてくれる。言ってみれば、お寿司は海の塊。いろいろな海の食材を使っているから。『大好きなお寿司食べるの、これでおしまい！』って言われたら、絶対嫌だよ。君たちがこれから大人になってもお寿司を食べるってことは、海で働く人が捕ったものと、ずっと付き合っていくことになるんだよ。海は君たちと無関係ではないんだよね。』と。」

身近な話題から、聞く人の気持ちを海に向けていきます。子どもたちは

ヒントを与えられれば思考がどんな広がり、興味を持ち、疑問も持ち始め、もっと知りたいという気持ちになっていきます。食べ物の話やアマモを増やす活動に参加してもらうことは、あくまでもヒント。海のことを知ってもらおうヒントから始めて、とにかく海に出て海を体験してほしいのです。

「目の前にきれいな海があるのだから、海に行かせてやりたい。多くの大人が、危険だから、手間がかかるから子どもたちを海に連れて行くことをためらってしまうけれど、自然の中でのびのびさせてやりたい。プールで遊ぶことと海で遊ぶこと、その差は大きい。自然には、うんと多様性がある。子どもたちの好きなゲームには、与えられた条件があるけれど、自然の中では自由に



子どもたちと植えたアマモが育っています。

したいことができるのだから。」館長のお話からそんな想いが伝わってきました。

海には、いろいろな生きものがあります。海流があり、急に速くなる場所もあります。また、波はいつも同じではなく、何回かに1回は大きな波であったり、寄せる波より引く波の方が強かったりします。これは人間の力ではどうにもならない、自然の大きな力には勝てないところです。

海っておもしろいよ！
海ってこわいよ！

そんな海の話語っていただける場所に海の博物館はなろうとしているのです。

海に関わる資料を使ったり、体験学習を組み合わせたりして、多くの人に日本人と海との関わりを伝えることは、博物館としてやらなければならない基本的なことだと館長は言います。海に囲まれた国で生きる私たちにとって、深いつながりがある海に目を向ける人を増やすため、海の博物館は海を伝え続けています。

みなさんは毎日の食卓に魚や貝、のりなどが用意されたとき、海に

気持ちを馳せていますか。「尾頭付き」と言う言葉さえ死語になりつつある今日この頃、私たちの生活を支えてきた海の恵みについて、今一度考えてみませんか。昔も今も海が私たちと深く関わっていることをあらためて認識し、毎日の暮らしの中で何ができるのかを考え行動していきましょう。

写真提供 海の博物館

インフォメーション

海の博物館

公益財団法人 東海水産科学協会

住所 〒517-0025 三重県鳥羽市浦村町大吉 1731-68

TEL 0599-32-6006

URL <http://www.umihaku.com>

営業時間

3月21日~11月30日…9:00~17:00

12月1日~3月20日…9:00~16:30

※最終入館は閉館の30分前までです。

定休日

6月26日~6月30日、12月26日~12月30日

入館料

大人800円、高・中・小学生400円

スキルアップ講座

海の博物館館長が語る 海がSOS叫んでいる！

いしはら よしかた

講師：「海の博物館」館長 石原 義剛 氏

開催日時：平成29年3月11日(土)

10:00~12:00

場所：三重県総合文化センター

対象：18歳以上

参加費：無料

締切：先着順

募集人数：120名

主催・申込先：三重県環境学習情報センター